

ようこうだより

2022年度

One team
for the future
on the community



地域のニーズに応えて・・・

館邑会理事長挨拶

昭和56年に通所授産施設「陽光園」から始まった館邑会は地域のニーズに寄添いながら事業の拡張をしてきました。当時この地域には養護学校を卒業した後行く所が無く、多くは家庭に戻り他の人達との関わりが少なくなっていました。学校では集団で社会性等を学んできました。家庭に戻ってしまつては、社会的自立から後退してしまいます。学校で学んだことを生かし、更に社会的自立に向けた作業所が必要と地域のニーズに応えるべく、館邑会が設立され、「陽光園」が作られました。後に入所施設のニーズで「第二陽光園」、小規模入所のニーズで「てんしやば」を開所してきました。

地域のニーズは、その地域の置かれた状況と法令等の影響を受けます。

平成15年に支援費制度が導入され平成18年には「障害者自立支援法」が施行されました。この法律で利用者は「生活支援」「就労支援」を選択できるようになった為「就労支援」を目的とした事業所「ふらつぐ」その後「GOODJOB」を開所いたしました。また、この地域で不足していた、放課後等デイサービス「ういず」の開所と、1市5町の委託を受けて、地域の相談支援センター「ほっと」の運営が始まりました。この地域で必要とされる法人にますます成長し続けたいと思います。

理事長 山川 博

「コロナから脱出しよう!!」

陽光園

なかなか収まらない新型コロナウイルス感染症。日々共有スペースの消毒・定時検温を徹底し、食堂にはアクリル板を設置して感染症対策に努めています。

も行なっています。
B班では作業の他にトランプや、園外での散歩などを行なっています。

陽光園は3つのグループに分かれて日中の活動を行います。作業活動として、枕カバーを伸ばす作業を中心に、ミルクポーションのプラスチック容器からアルミ製の蓋をはがす分別作業や、オイコスのバリ取り作業など、利用者さんに合わせて環境を整えながら、作業に取り組んでいます。
C班での作業はミルクポーションが中心です。利用者さん個々の興味やペースに合わせて、トランプやボール、外に出かけられない時は園内の散歩などを行っています。

みんなが笑顔で健康であることが一番！早くコロナから脱出したい！秋晴れの空の下でそんなことを思う毎日です。

A班では作業だけでなく積極的に園外に出て、散歩や山歩きを楽しみながら体力作り

生活支援員

勤続11年 関根 尚未

温かな日々をこれからも。

第二陽光園

新型コロナウイルスが世界的に蔓延して約3年、経とうとしていきます。利用者さんも様々な制限の中で生活されています。

その中でも利用者さんの笑顔が絶えず過ごしていけるよう、季節ごとの行事などを計画、実施しています。天気の良い日は散歩や中庭でおやつを食べています。

第二陽光園の中庭に生えている四葉のクローバーを利用者さんが見つけた時にとってもいい笑顔で教えてくれます。そんな笑顔が私はとても好きです。私個人としては「笑顔でいることは幸せへの第一歩」と思っ日々過ごしていきます。他の人にとっては些細なことでも、利用者さんが笑

顔になれることは支援をしていく上で一番大切なことだと思っっています。

時が経つにつれて第二陽光園でも様々な問題や制限が多く出てくると思います。その中でも利用者さんが笑顔で過ごし、温かな日々を送れるようにしたいと思います。



生活支援員

勤続5年 倉澤 将人

時代に合わせて進化

ふらっぐ

ふらっぐは多くの方々のご支援・ご協力を頂き、今年度14年目を迎えることとなりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

ふらっぐでは、パンの製造販売以外にも、エアアグレス会社内での作業や、施設外就労としてつつじが岡公園での清掃作業などを行い、今年度はDANONERサイクルセンターが再稼働いたしました。しかし、この三年間はコロナ

ウイルスの影響で様々な行動に制限があり、事業運営にも大きく影響を及ぼしました。今後コロナウイルス感染症と上手く付き合いながら作業活動や余暇活動を取り入れていこうと思っっております。

今年度よりふらっぐのGoogleマップのインドアビ

ユーを実施致しました。現在スマホを利用して店舗検索する方が増え、その中でもGoogleマップの利用者数は増えているようです。今年度より祝日も開所し店舗も営業している中で、新規のお客様、他県ナンバーのお客様にも多数ご利用頂いております。より多くの方にご愛顧いただけますよう、さらなる努力を重ね、発信もしていきたいと思っっております。

ご来店を【チョイス君】もお待ちしております。



所長兼サービス管理責任者

勤続21年 鱒石 英男

てんしゃばの現在、これから

てんしゃば

グループホームてんしゃばは設立して今年で18年目になります。現在は女性ホーム「あすかA・B・C」と男性ホーム「そら」の四ホーム体制で運営しています。コロナ禍における新生活様式の中、外出や余暇支援も段階的に再開しています。

てんしゃばの名前の由来は、設立当初、駅前通り沿いに建物があり、駅前通りは通称てんしゃば通りと呼ばれていて、そこから名称を拝借したという事です。転車場とは鉄道車両を転車台により目的の方向に向けることの出来る場所です。てんしゃばも利用者さん一人一人の未来を見据え、生活する上での目的や楽しみを実現していく、そんな場で

ありたいと考えています。

本年度に入り、現在新たな男性ホーム設立に向け、計画が進行中です。それに向け十月より、男性ホームが他事業所との兼務体制となりました。陽光園、ふらつぐ、GOOD JOBの職員がてんしゃば支援員として交代で勤務していきます。高まる地域ニーズに合わせるべく、課題解決に向けて職員一同頑張っていきたいと思えます。



サービス管理責任者

勤続22年 前山秀邦

ほつとで繋ぐ地域の輪

ほつと

館林邑楽相談支援センターほつとは、館林市と邑楽町、板倉町、千代田町、明和町の一市四町の方を対象に相談支援を行っています。感染防止対策を引き続き実施しながら、来所や訪問等での支援を継続して行っています。

「相談支援」とは、障がいを持つ方が置かれている状況や抱えている悩みの相談に応じ、暮らしについて一緒に考えることです。主に地域にある社会資源の情報提供や、必要な障害福祉サービスの利用につなげる支援、関連機関との連絡調整を行っています。相談では障害福祉以外の法律制度や、税金、年金、病院、就職支援など、暮らしに関わる様々な事柄の相談が飛び込

んできます。すぐにぱつと答えられることもありますが、相談内容は多岐に渡るため、関係機関と連携して対応することになります。

ほつとは一人ひとりが、より良く暮らしたいという、必要な時には適切な機関にお繋ぎしていきます。相談者の悩みを聞いて、気持ちを理解し、手助けをしてくれる支援者が増え、支援の輪を広げられるようお手伝いを致します。そして、地域生活を送る方々をサポートするのに、最良のハブ拠点としての役割を果たしていけるよう頑張っています。

相談員

勤続4年 永澤 祐介

将来に向けての、ステップ！

ういず

コロナも落ち着きをみせ、様々な制限が緩和されつつある社会になりました。ういずも感染対策を行いながら、活動の幅を広げていきます。今年の夏季長期休暇から、中学生〜高校生を対象に、将来に向けて、法人内の事業所で「就労体験」を実施しました。ふらつぐでパンを作る工程や、からふるではクッキー作り・エアグレスで作業体験をさせてもらいました。初めての場所に行き、その場所で働く先輩方に緊張した様子が見られたお子さん達でした。そんな様子でしたが「よろしくお願ひします」とお子さんから自然に出た言葉や、いざ作業を始めると、黙々と作業に取り組む姿があり、お子さん達

の成長を改めて感じる光景でもありました。今後も、法人内の事業所と連携を取りながら、将来に向けてのステップとなるようなサービスの提供が出来るよう職員一同、お子さん達と日々成長していきたいと思います。



保育士

勤続10年 大田知美

今までの自分を追い越す

GOOD JOB

コロナウイルスが猛威を振るってから早3年が経とうとしています。その中で利用者の皆さんにも様々な変化がありました。まずは、マスクの着用が必須になった事です。マスクが苦手な利用者さんもクリアマスクなどを着用しながら夏場の暑い中でも作業をしながらはいけない事です。また、利用者さんたちが楽しみにしている外食などに関しても、なかなか行けなかったりと新しい生活様式への変化にも慣れていかないといけませんでした。しかし、良い変化もありました。それは今まで休止状態であったダノンリサイクルセンターが再開したことです。

今までと比べると人数は多くないですが、今まで行わなかった作業を行ってもらいなど新しい事にも挑戦をしてもらっている状況です。今後の展開として考えている事は、コロナウイルスの影響であまり参加出来ていなかった就職説明会に少しずつ参加していき、利用者の皆さんがより一層活躍が出来る場所を共に探していきたいと思っております。



主任

目標工賃達成指導員
勤続14年 笹崎 拓未

きっかけによる機会を作りたい

研修委員会

『勉強するから、何をしたいかがわかる。勉強しないから何をしたいかわからない。』

今や「世界のキタノ」と言われる映画監督北野武さんの言葉です。私が子どもの頃、北野武さんと言えば「タケちゃんマン」「ビートたけし」でしたが…。

より多くの職員に利用者の皆さんと関わり支援に携わる中、「こんな支援がしたい」「こんな支援について学んでみたい」「こんな取り組みに挑戦したい」「こんな事業に関わってみたい」などなど感じてもらいたい。もちろん研修だけが学びの場ではありません。それでも、きっかけになる機会が多いほうが良いよねと思います。

今年度の研修委員会は、研



研修委員会

委員長 新井 昭代

修委員が各事業所の研修の充実にむけ取り組んだり情報交換をしたりしています。また、より充実した初任者研修についても、検討していきます。

何でも話せる関係を大切に

苦情解決委員会

苦情とは、被害を受けたり、不公平な扱いをされたり、迷惑を受けたりしたことに對する、不満・不快な気持ち。また、それを述べた言葉とのことです。(大辞林)

福祉サービスにおいては、苦情を、「利用者の声」として捉え、サービスの質の向上に繋げることが大切と言われています。そして苦情解決には、事業者の真摯な対応が求められています。また、社会福祉法第82条では、社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならないとされています。

苦情解決の目的は、①福祉サービスに関する利用者の満足感を高める。②早急な虐待防止策が講じられ、利用者個

人の権利を擁護するとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援する。③苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保する。④場当たり的な対応でなく、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決を促進し、事業者の信頼や適正性を確保する。ことです。苦情解決の効果は、「利用される方」にとつては、福祉サービスに対する満足感が得られ権利侵害から守られます。「事業者」にとつては、サービスの改善につながり質の高いサービスの向上が図れることにつながり、そのことが継続安定したサービス事業の運営にもつながっていくのです。

苦情解決委員会

委員長 中村 建児

安全安心な地域づくりを推進する

危機管理対策委員会

危機管理対策委員会は、近年各地域でみられる自然災害や新型コロナウイルスなど感染症が事業所で発生した場合に利用者の生命を守りつつ、

災害下においても事業を継続し、被害や利用者の不利益を最小限にとどめることを目的としています。準備期においては計画性をもって「もしもの場合」に備え、利用者及び職員の安全を守り、安心して事業所を利用してもらう体制を整えています。「平常時にいかに準備をしておくか」が災害に当たっては非常に重要で、可能な限り「想定外」を無くしていく努力が求められています。

我々が当たり前のように普

段送っている「いつもと変わらない日常」を継続するためには、表面的には姿を見せないいくつかの準備があつてこそです。

特に新型コロナウイルスの影響による今までとは違った生活を経験した現在では「当たり前の生活」の意味合いも大きく変わってきており、そのありがたみ、大切さを感じる機会が増えています。一日一日を大切に生きるためにも「備え」に対する意識を高めていければと考えています。これからも利用者の安全・安心のためにしっかりと準備していきますと思います。

危機管理対策委員会

委員長 程原 一行

自分らしく生活する権利を守る

人権倫理委員会

人権倫理委員会は、昨年度まで活動していた「虐待防止委員会」に、身体拘束の在り方を見直し、可能な限り身体拘束に当たる行為を「0」に近づけていくことを目的とした「身体拘束適正化委員会」の役割を新たに持たせ、編成をし直した委員会です。

昨年度お伝えしました通り、この委員会は「してはいけないことをしない」ことに主眼を置くのではなく、どのように利用者さんの人権を守り、一人一人の生活を支えていくかについて学び、実践に結び付けるための委員会です。

今年度から、国に義務付けられている「人権擁護（虐待防止・身体拘束の適正化な

ど）に関する研修を法人として統一した内容にする為、新任職員に対する研修内容の取りまとめを図ることを今年度の活動の主軸に置いています。支援させて頂く利用者さんの権利を守り、同じ地域の生活者として、共に安心して生活することができる地域作りのための一役が担えればと思います。

非常にテーマが重い委員会ですので真剣に話し合いながらも、それぞれの意見や悩みを気軽に話し合える委員会にできればと考えています。

人権倫理委員会

委員長 程原 一行

魅力を発信中

広報委員会

今年度、館邑会広報委員会委員長を務めております鰐石と申します。よろしくお願いたします。

昨年度までは、SNS普及委員会としてインスタグラム、ツイッター、フェイスブックの活動開始に向けて準備を進め、委員会としてのルールを設けながらその取り組みを進めてまいりました。

実際にSNSをアップして、その内容を見た方から就職希望の問い合わせがあったり、外部関係者から「インスタ見たよ〜」等のお話を多くの場面で頂いたりしました。

今年度は広報委員会と名前を変えてSNSのさらなる発展と共に、法人共通のパンフレット作成を検討するなど、さらに幅広く広報活動に取り

組んで参ります。

社会情勢は少子高齢化を迎え、様々な場所で人手不足との声が聞こえてきます。もちろん福祉業界も同様です。

今後も館邑会の魅力を発信し、様々な方に興味関心を持って頂き、館邑会に関わる方が少しでも増えて広がって行きますよう、委員会として活動していこうと思っております。

ぜひインスタグラムを見てフォローをお願いします。

広報委員会

委員長 鰐石英男

館邑会 HP は
こちらのQRコードから



館 邑 会

各事業所長の紹介

館邑会

事務局長 田中良治
(令和3年4月就任)

陽光園 昭和56年4月

生活介護 定員55名 職員27名
所長 黒田香代美
(平成29年4月就任)

第二陽光園 平成8年4月

施設入所支援・生活介護定員50名
短期入所・日中一時支援
職員44名

施設長 程原一行
(令和3年4月就任)

ういず 平成25年4月

放課後等デイサービス 定員10名
職員5名

管理者 新井昭代
(令和4年4月就任)

ほっと 平成19年1月

相談支援事業 職員13名
センター長 仁木紀行
(令和3年4月就任)

てんしやば 平成17年2月

共同生活援助 定員19名
職員18名

管理者 木村 孝
(平成29年4月就任)

ふらっぐ 平成21年10月

就労継続支援B型 定員20名
職員4名・16名 (GOODJOB兼務)
所長 鰐石英男

(令和3年4月就任)

GOODJOB 平成30年4月

就労継続支援B型 定員20名
職員5名・16名 (ふらっぐ兼務)
所長 中村建児

(平成30年4月就任)

表彰披露

◇社会福祉事業従事功労者 厚生労働大臣表彰

令和5年1月19日陽光園にて、てんしやば生活支援員久保田佳代さんの厚生労働大臣表彰の伝達式が執り行われました。
伝達式には県職員の方々にお越しいただき、館邑会管理者同席のもとに行われました。
心よりお祝い申し上げます。



◇日本知的障害者福祉協会知的障害者福祉事業功労者(20年)

第二陽光園 松田育子 サービス管理責任者

◇群馬県知的障害者福祉協会永年勤続表彰(10年)

陽光園 井野口善久 生活支援員
ういず 赤坂知美 保育士

◇群馬県手をつなぐ育成会会長表彰(8年)

陽光園 島田知実 生活支援員
第二陽光園 齋藤 靖 生活支援員
第二陽光園 阿部彩加 主任 生活支援員
第二陽光園 金澤将太 生活支援員
第二陽光園 千葉克真 生活支援員

第二陽光園	山崎昂輝	生活支援員
第二陽光園	野村稜子	生活支援員
ふらっぐ	上武克美	職業指導員
ほっと	杉戸由香里	相談支援専門員
ほっと	茂木利江子	相談支援専門員
ほっと	長沢葉子	相談支援専門員
てんしやば	石田以久子	生活支援員

寄付・寄贈品

期間：令和3年8月～令和4年7月

◇法人本部

小林正春 様	1,000,000円
館邑会後援会 様	150,000円
10クラブチャリティ親睦ゴルフ大会	95,000円

◇陽光園

館林市手をつなぐ育成会 様	250,390円
---------------	----------

◇第二陽光園

田村キチ 様	50,000円
館林市手をつなぐ育成会 様	189,290円

ご厚情に心より感謝申し上げます。

令和3年度 事業報告

1. 役員会等の状況

(書)は書面議決による決済

開催日	事業名	内容
4月12日	第1回理事会(書)	理事候補者の選任・就業規則の変更 評議員会開催について
4月26日	第1回評議員会(書)	理事の選任
6月9日	第2回理事会(書)	令和2年度事業報告・決算 定款変更・就業規則の変更 理事監事候補者の選任・評議員候補者の選任 評議員選任解任委員の選任・第三者委員の選任 第二陽光園非常時自家発電機設置工事指名業者の選定 陽光園運営規程の変更・ういず運営規程の変更 評議員会開催について
6月23日	定時評議員会(書)	令和2年度事業報告・決算 定款変更・理事監事の選任
6月23日	第3回理事会	理事長の選任
8月11日	第4回理事会(書)	第二陽光園非常時自家発電機設置工事の契約 評議員候補者の選任 陽光園移転建替え
9月16日	第5回理事会(書)	補正予算 第二陽光園女子棟入浴設備改修工事関連 評議員会開催について
9月30日	第3回評議員会(書)	補正予算
10月13日	第6回理事会	第二陽光園女子棟入浴設備改修工事契約
11月29日	第7回理事会	陽光園建設予定地の売買契約・給与規程の一部変更
3月16日	第8回理事会(書)	補正予算・令和4年度事業計画・当初予算 運営規程の変更・就業規則の変更・給与規程の変更 育児介護休業等に関する規則の変更・表彰規程の変更 管理者の選任・評議員会開催について
3月30日	第4回評議員会(書)	補正予算・令和4年度事業計画・当初予算

2. その他会議やイベント

開催日	事業名	内容
8月1日	館邑会後援会(書)	決算・予算、事業報告
	第三者委員会	～中止～
	秋まつり	～中止～
	新年会	～中止～

令和3年度 決算報告

貸借対照表 令和4年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	445,280,365	398,190,833	47,089,532	流動負債	35,474,147	45,880,398	△10,406,251
現金	600,000	600,000	0	事業未払金	14,998,276	20,175,636	△5,177,360
預金	308,839,969	268,546,587	40,293,382	1年以内返済予定リース債務	0	208,980	△208,980
事業未収金	110,294,240	109,403,569	890,671	預り金	0	3,013,900	△3,013,900
原材料	357,219	423,992	△66,773	職員預り金	6,256,582	6,481,882	△225,300
立替金	0	3,010,685	△3,010,685	拠点区分間借入金	10,000,000	16,000,000	△6,000,000
前払金	1,681,000	206,000	1,475,000	仮受消費税	4,219,289	0	4,219,289
拠点区分間貸付金	10,000,000	16,000,000	△6,000,000	固定負債	96,716,843	86,469,183	10,247,660
仮払消費税	13,507,937	0	13,507,937	拠点区分間長期借入金	86,862,783	75,362,783	11,500,000
固定資産	589,232,781	580,682,488	8,550,293	退職給付引当金	9,854,060	11,106,400	△1,252,340
基本財産	300,310,698	312,292,259	△11,981,561	負債の部合計	132,190,990	132,349,581	△158,591
土地	95,028,275	95,028,275	0	純資産の部			
建物	196,458,534	206,034,822	△9,576,288	基本金	168,572,625	168,572,625	0
建物付属設備	8,823,889	11,229,162	△2,405,273	基本金	168,572,625	168,572,625	0
その他の固定資産	288,922,083	268,390,229	20,531,854	国庫補助金等特別積立金	178,866,140	183,099,965	△4,233,825
建物	24,470,500	25,376,199	△905,699	国庫補助金等特別積立金	178,866,140	183,099,965	△4,233,825
建物付属設備	5,278,871	6,539,023	△1,260,152	その他の積立金	134,546,160	119,546,100	15,000,060
構築物	942,177	1,142,721	△200,544	移行時特別積立金	42,555,500	42,555,500	0
機械及び装置	5,544,138	435,781	5,108,357	施設整備積立金	71,900,660	56,900,600	15,000,060
車輛運搬具	13,393,973	18,529,414	△5,135,441	人件費積立金	15,500,000	15,500,000	0
器具及び備品	2,983,783	4,558,259	△1,574,476	修繕費積立金	4,590,000	4,590,000	0
建設仮勘定	2,904,000	2,904,000	0	次期繰越活動増減差額	420,337,231	375,305,050	45,032,181
リサイクル預託金	339,010	366,160	△27,150	次期繰越活動増減差額	420,337,231	375,305,050	45,032,181
権利	619,715	644,538	△24,823	(うち当期活動増減差額)	60,032,241	45,750,810	14,281,431
ソフトウェア	1,182,913	1,669,871	△486,958				
無形リース資産	0	208,980	△208,980				
拠点区分間長期貸付金	86,862,783	75,362,783	11,500,000				
退職給付引当資産	9,854,060	11,106,400	△1,252,340				
移行時特別積立	42,555,500	42,555,500	0				
施設整備積立資産	71,900,660	56,900,600	15,000,060				
人件費積立資産	15,500,000	15,500,000	0				
修繕費積立資産	4,590,000	4,590,000	0				
資産の部合計	1,034,513,146	978,873,321	55,639,825	純資産の部合計	902,322,156	846,523,740	55,798,416
				負債及び純資産の部合計	1,034,513,146	978,873,321	55,639,825

資金収支計算書 (自)令和3年4月1日(至)令和4年3月31日

(単位:円)

事業活動計算書 (自)令和3年4月1日(至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	42,850,000	43,491,237	△641,237
	障害福祉サービス等事業収入	712,255,000	717,443,441	△5,188,441
	その他の事業収入	972,000	972,000	0
	経常経費寄附金収入	756,000	2,215,300	△1,459,300
	受取利息配当金収入	25,000	5,540	19,460
	その他の収入	5,921,000	5,714,657	206,343
	事業活動収入計(1)	762,779,000	769,842,175	△7,063,175
	支出			
	人件費支出	538,415,000	525,165,858	13,249,142
事業費支出	89,449,000	81,995,934	7,453,066	
事務費支出	64,382,000	51,676,007	12,705,993	
就労支援事業支出	42,850,000	43,076,081	△226,081	
その他の支出	4,100,000	4,155,700	△55,700	
事業活動支出計(2)	739,196,000	706,069,580	33,126,420	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	23,583,000	63,772,595	△40,189,595	
収入				
施設整備等補助金収入	5,250,000	4,455,000	795,000	
固定資産売却収入	105,000	640,370	△535,370	
施設整備等収入計(4)	5,355,000	5,095,370	259,630	
支出				
固定資産取得支出	10,155,000	7,392,670	2,762,330	
ファイナンス・リース債務の返済支出	209,000	208,980	20	
施設整備等支出計(5)	10,364,000	7,601,650	2,762,350	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△5,009,000	△2,506,280	△2,502,720	
その他の活動による収支				
積立資産取崩収入	1,900,000	2,905,337	△1,005,337	
拠点区分間長期借入金収入	11,500,000	11,500,000	0	
拠点区分間長期貸付金回収収入	6,000,000	0	6,000,000	
拠点区分間繰入金収入	1,200,000	1,200,000	0	
その他の活動による収入計(7)	20,600,000	15,605,337	4,994,663	
積立資産支出	16,191,000	16,106,724	84,276	
拠点区分間長期貸付金支出	11,500,000	11,500,000	0	
拠点区分間長期借入金返済支出	6,000,000	0	6,000,000	
拠点区分間繰入金支出	1,200,000	1,200,000	0	
その他の活動支出計(8)	34,891,000	28,806,724	6,084,276	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△14,291,000	△13,201,387	△1,089,613	
予備費支出(10)	7,283,000	—	7,283,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△3,000,000	48,064,928	△51,064,928	
前期末支払資金残高(12)	352,089,000	352,095,423	△6,423	
当期末支払資金残高(11)+(12)	349,089,000	400,160,351	△51,071,351	

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収入			
	就労支援事業収益	43,491,237	43,367,343	123,894
	障害福祉サービス等事業収益	717,443,441	728,898,107	△11,454,666
	その他の事業収益	972,000	1,324,000	△352,000
	経常経費寄附金収益	2,215,300	714,840	1,500,460
	サービス活動収益計(1)	764,121,978	774,304,290	△10,182,312
	費用			
	人件費	529,367,185	543,990,505	△120,623,320
	事業費	81,995,934	84,027,019	△2,031,085
	事務費	51,676,007	51,590,098	85,909
就労支援事業費用	43,142,854	40,305,991	2,836,863	
減価償却費	23,383,410	23,766,361	△382,951	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,688,825	△8,526,165	△162,660	
サービス活動費用計(2)	714,876,565	735,153,809	△20,277,244	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	49,245,413	39,150,481	10,094,932	
特別増減の部				
収入				
受取利息配当金収益	5,540	12,827	△7,287	
その他のサービス活動外収益	5,714,657	11,006,653	△5,291,996	
サービス活動外収益計(4)	5,720,197	11,019,480	△5,299,283	
費用				
その他のサービス活動外費用	4,155,700	4,419,150	△263,450	
サービス活動外費用計(5)	4,155,700	4,419,150	△263,450	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,564,497	6,600,330	△5,035,833	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	50,809,910	45,750,811	5,059,099	
施設整備等補助金収益	4,455,000	1,360,000	3,095,000	
固定資産売却益	605,000	0	605,000	
拠点区分間繰入金収益	1,200,000	1,200,000	0	
特別収益計(8)	6,260,000	2,560,000	3,700,000	
費用				
固定資産売却損・処分損	3	1	2	
国庫補助金等特別積立金積立額	4,455,000	1,360,000	3,095,000	
拠点区分間繰入金費用	1,200,000	1,200,000	0	
特別費用計(9)	5,655,003	2,560,001	3,095,002	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	604,997	△1	604,998	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	51,414,907	45,750,811	5,664,096	
前期繰越活動増減差額(12)	375,305,050	327,554,540	47,750,510	
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	426,719,957	373,305,350	53,414,607	
基本金取崩額(14)	0	0	0	
その他の積立金取崩額(15)	0	4,500,000	△4,500,000	
その他の積立金積立額(16)	15,000,060	2,500,300	12,499,760	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	411,719,897	373,305,050	36,414,847	

苦情処理結果報告

令和3年10月1日～令和4年9月30日現在

事業所名	苦情件数
陽光園	0
第二陽光園	7
ふらっぐ	0
GOOD JOB	2
ほっと	0
ういず	0
てんしゃば	0

社会福祉法人館邑会の役員

1. 評議員

前山秀樹(善長寺住職)
安楽岡信子

三田正信(館林市社協長)
峯崎俊雄(板倉町社協長)
立木留吉(明和町社協長)
久保田 馨(千代田町社協長)
岩瀬寿夫(大泉町社協長)
内田雅行(邑楽町民生委員・
児童委員協議会長)

2. 理事

山川 博(理事長)
太田敏雄
山本 樹
多田征訓
田部井猛夫
黒田香代美(陽光園管理者)

3. 監事

田沼俊彦
栗原則雄

第三者委員

田中美喜雄
平野一男(司法書士)
橋本宏海



編集後記

ようこうだよりの編集を行うようになって、早6年となった。日々の業務に追われ発刊が遅くなってしまう申し訳ありませんでした。

(A、W)

ようこうだより

令和四年号

編集・発行 社会福祉法人 館邑会

〒370-0614 群馬県邑楽郡赤堀八三六の一

<https://kanoukai.jp>

本部

TEL:0276-89-0600

FAX:0276-88-6930

mail:info@kanoukai.com